
令和 3 年度の災害に関する 処理進捗状況

令和 4 年 3 月 9 日

環境再生・資源循環局

災害廃棄物対策室



1. 令和3年7月豪雨における 災害廃棄物の処理状況

令和3年7月豪雨における災害廃棄物処理進捗状況（1/2）



災害廃棄物の処理状況（令和4年1月末時点）

	発生（推計）量（t） 「A」	処理量（t） 「B」	進捗率 「B÷A」
神奈川県	163	163	100%
静岡県	9,388	3,317	35%
福井県	50	50	100%
広島県	464	464	100%
島根県	1,853	1,580	85%
高知県	59	59	100%
鹿児島県	163	163	100%

令和3年7月豪雨における災害廃棄物処理進捗状況（2/2）



損壊家屋等解体の状況（令和4年1月末時点）

	想定解体棟数	申請棟数(A)	解体済棟数(B)	進捗率(B÷A)
神奈川県	1	1	1	100%
静岡県	76	39	1	3%
福井県	-	-	-	-
広島県	1	1	1	100%
島根県	5	5	2	40%
高知県	1	1	1	100%
鹿児島県	-	-	-	-

(※) 解体棟数には、公費解体のほか、自費償還による棟数を含む場合がある。

2. 令和3年8月豪雨における 災害廃棄物の処理状況

令和3年8月豪雨における災害廃棄物処理進捗状況（1/2）



災害廃棄物の処理状況（令和4年1月末時点）

	発生（推計）量（t） 「A」	処理量（t） 「B」	進捗率 「B÷A」
長野県	1,413	423	30%
岐阜県	11	11	100%
広島県	65,211	31,251	48%
山口県	65	0	0%
福岡県	1,409	696	49%
佐賀県	5,767	5,638	98%
長崎県	736	4	1%
大分県	114	0	0%

令和3年8月豪雨における災害廃棄物処理進捗状況（2/2）



損壊家屋等解体の状況（令和4年1月末時点）

	想定解体棟数	申請棟数(A)	解体済棟数(B)	進捗率(B÷A)
長野県	15	8	3	38%
岐阜県	—	—	—	—
広島県	30	23	16	70%
山口県	1	1	0	0%
福岡県	3	0	0	0%
佐賀県	5	5	2	40%
長崎県	—	—	—	—
大分県	3	3	0	0%

(※) 解体棟数には、公費解体のほか、自費償還による棟数を含む場合がある。

3. 熱海市における災害廃棄物対応状況

被災直後の状況と救助・捜索活動

伊豆山住宅地（岸谷地区）



令和3年7月10日 熱海市撮影

がれき混じり土砂の一括撤去作業（環境省・国土交通省連携事業）



伊豆山住宅地（岸谷地区）



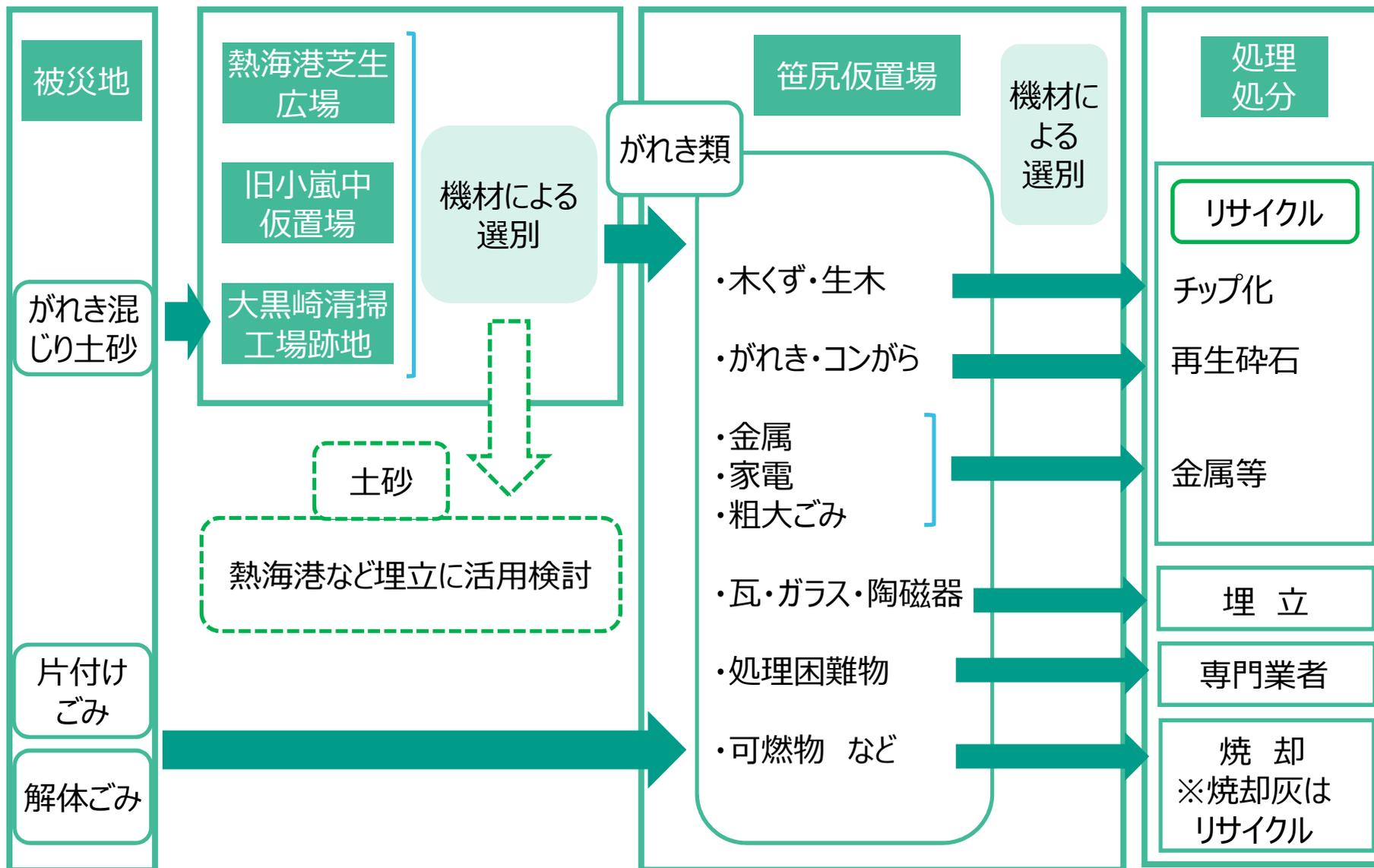
令和3年7月20日 熱海市撮影

＜熱海市伊豆山で発生した土石流災害＞ 現地活動の状況



	7/3発災	8月	9月	～現在
救助・捜索活動	自衛隊、警察、消防等 8/3～警察主体			捜索活動 継続中
	＜発災直後＞ 死者2名 行方不明者 約20名	＜7月末＞ 死者22名 行方不明者 5名	＜8月末～＞ 死者26名 行方不明者 1名	
土砂・がれき一括撤去	7/3～ 熱海港芝生広場			がれき混じり 土砂は3ヶ所で 保管中
	7/6～大黒崎清掃工場跡地	7/16～旧小嵐中グラウンド		
災害廃棄物処理事業	7/9～ 笹尻仮置場			片付けごみ・土砂から選別した がれき等を随時受入れ
	8/31 人材バンク による支援 (館山市)	10/20 (～3/31) 損壊家屋撤去 申請受付開始	12/13～15 災害査定	
備考	土砂災害警戒レベル5 「緊急安全確保」	8/16 災害対策基本法第63条 警戒区域設定		12月～ 復興計画策定開始

災害廃棄物処理フロー（主なごみ種と流れ）



今後の災害廃棄物処理（予定）



【令和4年3月～（予定）】

○がれき混じり土砂

仮置場で管理中のがれき混じり土砂を土砂と災害廃棄物に分別
土砂は熱海港、下多賀の埋立に活用

がれきは笹尻仮置場へ搬出後、さらに分別してリサイクル・焼却等による処理
（がれき処理はR4年度中での処理を予定）



令和4年2月14日熱海市撮影

○芝生広場にて選別試験を実施中
3月14日より本格稼働を予定

○事業費は、土砂・がれきの重量
比にて按分（堆積土砂排除事業）

今後の災害廃棄物処理（予定）



【令和4年3月～（予定）】

○損壊家屋の撤去

申請受付済の家屋から順次撤去を開始

解体ごみは笹尻仮置場に搬入し、リサイクル・焼却等による処理

（家屋撤去は、R5年1月までを見込んでいるが、災害復旧工事に伴い変動する可能性あり）



令和3年7月7日 熱海市撮影



令和3年7月10日 熱海市撮影

災害廃棄物発生量（災害査定時の推計値）：約9,200トン

処理実績（令和4年1月末現在）：約3,100トン

今後搬入される、がれき・片付けごみ・解体ごみは笹尻仮置場にて更なる分別を行い、リサイクル、焼却等による適正処理を継続